

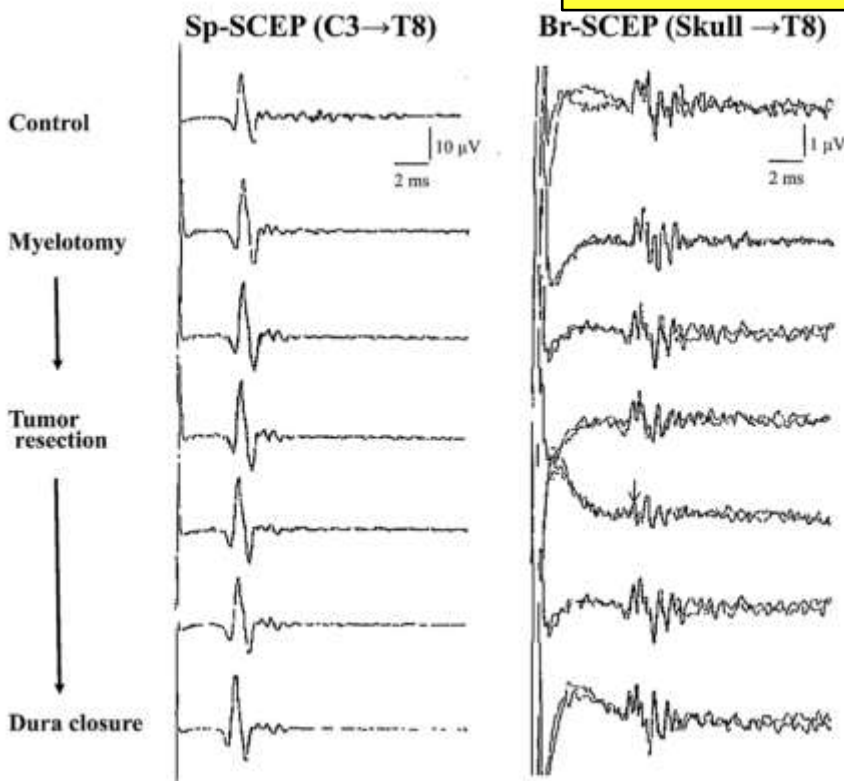
Patient Information

ID	#####	主治医	
性別	男性	検者	
年齢	73歳	手術日	##年 ##月 ##日
診断および術式	頸髄腫瘍、腫瘍摘出術		
Comment	<p><u>記録電位</u> Sp-SCEP. Br-SCEP</p> <p><u>記録部位 (モニタージュ)</u> T8 に設置した硬膜外電極</p> <p><u>所見</u> 脊髄腫瘍摘出時にBr-SCEPの振幅の低下を認めましたが、Sp-SCEPに変化はなかった。Br-SCEPの電位が回復するまで手術操作を中止し、回復の後に手術を再開した。</p> <p><u>判定</u> 術後麻痺は生じなかった。レスキュー症例。</p>		

赤字で示した箇所の明記が必須です。

Sp-SCEP, Br-SCEP

被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。



申請者の署名 (記名) が必要です。

Signature ○ × △ □